

# 和のなごみ

Vol.31 / 2015  
January

特集

## 作業所で働く!

### 活動紹介

#### おうみ食べてもらい隊 ESTってなあに?

Eatは食べること、Supportは支えること、Teamは仲間。おうみ食べてもらい隊ESTはその名のとおり、食べることを支える仲間です。

安全に食べるには、口のはたらきを良くし清潔にする。その人に合った食事の形態を提供し食べ方を助ける。食べる時の姿勢やまわりの環境を整える。ちゃんと咳ができる力を維持するなど、いろんな要素が必要です。いつまでも安全においしく食べていただくために、医師・歯科医師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・看護師など多くの職種が仲間となり、お互いの得意なところを学び合っています。



これから、ますます高齢化の社会になるでしょう。食の困りごとを相談したい方も一緒に勉強したい方も、食べることが大好きな方も、おうみ食べてもらい隊に一声かけてください。私たちの滋賀の地(おうみの国)を食べる幸せに満ちた地域にしていきたいと思います。2ヶ月に一度、仲間は県立リハビリテーションセンターで集まっています。

代表 石黒幸枝(歯科衛生士)

### 催しもの紹介

#### 福祉用具普及啓発事業研修会 Inビバシティ彦根

3月21日(土)開催 13:30~15:00 (受付13:00~)

#### 1から学ぶシーティング講座~評価と適合~

講師: 滋賀医療技術専門学校 理学療法士 川崎 浩子 氏  
対象: 理学療法士、作業療法士、看護師、介護士 他

豊富な臨床経験とわかりやすい授業で、滋賀県内ではおなじみの理学療法士 川崎先生の昨年度大好評の研修会です。

シーティングについて、再確認し、明日からの臨床につなげていける講演です。

場所: ビバシティ彦根 研修室1

#### 問合せ先

滋賀県立リハビリテーションセンター  
〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30  
TEL: 077-582-8157  
FAX: 077-582-5726  
E-Mail: ef4701@pref.shiga.lg.jp

#### 同時開催

福祉用具展示相談会inひこね  
ビバシティ彦根 センタープラザ  
10:00~16:00  
春が来た!ウキウキわくわくお出かけしましょ♪

県内のイベントなどでもよく作業所のクッキーやケーキ、作品販売など目にしませんか?百貨店などでもクッキーを販売しているのを見かけます。

今回は作業所はどんな所でどんな事をするのか、滋賀県甲賀市甲南町にある社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房におじゃましました。





# 働く現場をのぞいてみました!!!

やまなみ工房は、1986年に「やまなみ共同作業所」として誕生し、現在利用者は64名で、6つの班に分かれ活動されています。個性や感性を活かした創作活動を中心に興味や関心のある活動をとおして、生きがいや充実感を深められるよう取り組んでおられます。

## やまなみ工房の1日

9:00 ~	送迎開始
10:30 ~	朝の会
10:45 ~	午前の作業開始
12:00 ~	昼食
13:00 ~	午後の作業開始
15:00 ~	休憩
15:30 ~	終わりの会
15:30 ~	送迎



## 《やまなみ工房が大切にしていること》

あるがままの自分が認められ一人ひとりの思いや価値観が大切にされる事。

## やまなみ工房での6つの作業

### ころぼっくる

粘土や絵画を主とした  
創作活動

### こっとな

刺繍や織り物

### もくもく

清掃  
メンテナンス作業

### ふれんだむ

紙漉きをしたり、  
散歩や療育活動

### hughug

喫茶営業

### たゆたゆ

古紙回収やペットボトル  
キャップ回収事業

## ☆ 作品展示場もあります ☆



## 施設長の声

やまなみ工房に通う人々にはそれぞれに「これをする事で私は幸せである。」があります。やまなみ工房の“日常の中にある日”を覗いてみると、一人ひとりがそれぞれの方法で“特別な自分”を毎日表現しています。

互いの違いを知る事。

それぞれの価値観を大切にすること。

あるがままの自分が認められ存在できる場所で、自由に自分の可能性に向かう事ができればどんなに嬉しいことでしょうか。

やまなみ工房は、様々な表現から感じる個々の本質を大切に、感性とは何か、豊かさとは何かを考え、それぞれの可能性、そしてHAPPYが無現に広がる事を目指します。

## 利用者の声

以前は内職の仕事が中心でした。母に勧められやまなみ工房へ異動しました。

以前は疲労感や不満も多くあったが、異動してからはなくなりました。

絵を描いて、みんなに見てもらい評価してもらえ嬉しいです。今はやりたいことができ、充実しています。



こちらすべて刺繍でできています。

平成26年12月7日(日)に開催された、滋賀県連携リハビリテーション学会研究大会の抄録集には、やまなみ工房の大原菜穂子さんの作品が使用され、大変好評でした。



今回取材させていただき、障害のある人には多様な働き方があることを学ばせていただきました。支援者さんとお話しさせていただき、その人らしい生活を送る事の重要性を感じられ勉強になりました。利用者さんの作品展示場や喫茶店などもありますので、ご興味のある方は一度見学に行ってみてください。

(澤井)